

科目 No.	15
授業科目名	Global Sustainable Development Issues
授業の実施場所	宇都宮大学 峰キャンパス
使用言語	英語(基本)、日本語(補助)
単位数	1
開講日時	8月16日(木)～17日(金) (4コマ×2日) 8:50～16:00 (各日とも)
授業形態	講義・ワークショップ
受講者数	最少10人～最大30人
担当教員	日本グローバル・イニシアティブ協会理事長 綿貫雅一
開設大学	宇都宮大学
授業の内容	<p>本講義は、今日世界が直面する緊急な開発課題は何か。それに対し、国際社会が一丸となって取り組んでいる持続可能な開発目標(SDGs)とは何かについて、基礎的な知識を修得することを目的とします。これまで30年以上にわたるアジアやラテンアメリカにおける開発途上国に対する開発協力・援助の現地経験、特に15年間にわたる国際機関(米州開発銀行、本部ワシントンDC)での経済政策分析立案、政策支援における豊富な実務経験を基に、世界的規模の開発課題について論じます。具体的には、貧困と不平等、国際経済と貿易、地域統合、エネルギー、気象変動、食糧危機、国際移民などのテーマを取り上げます。</p> <p>本講義は、ディスカッションを取り入れ、学生の積極的な参加による授業です。具体的には、各テーマに関し、国際的な援助機関、シンクタンクやNPO団体のウェブやビデオを閲覧し、学生自らが、その背景や原因について考え討議します。授業は基本的に英語とし、補助的に日本語を使用します。英語による授業やディスカッション、また基本的な専門用語を学ぶ機会を提供します。</p>
教科書・参考書・教材等	必要な資料等は、適宜配付。特に、国際協力や開発援助機関、シンクタンクまたNPOのレポートや最新の情報を厳選し、配布予定。
成績評価	出席及び課題・ワークショップやディスカッションの参加状況に基づき評価。
学修上の助言	複雑な開発課題の因果関係は何か？解決策はどうあるべきか？客観的な観点から開発課題を捉え、学生が自らの頭で考える講義を目指します。また、国際的リソースに学生が自らアクセスし、色々な開発課題を身近に捉える授業です。国際機関、シンクタンク、NPOの活動に関心と興味を持たせる授業を考えます。英語力はTOEIC550点程度の中級レベルを目標とします。